

2020年3月26日

「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」について

アスリート・サポートスタッフ・競技団体のみなさま

3月23日付で世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が、WADAアスリート委員会と協議を経て取り纏めた「新型コロナウイルス；アスリートQ&A（COVID-19:Athlete Q&A）^{※1}」を公開しました。

これをもとに、JADAとして、国内事情をふまえた日本版の「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」を別紙の通り、公開します。

政府や各都道府県より発信されているメッセージをふまえ、一部の大規模イベント、競技大会等が中止となっています。

JADAはアスリート、ドーピング検査員、職員の健康を最優先に考えるとともに、WADAの「新型コロナウイルス アンチ・ドーピング機関ガイダンス（COVID-19：ADO GUIDANCE）^{※2}」に則り、国内アンチ・ドーピング機能の維持と活動を推進していきます。

Q&Aを確認頂き、不明な点があればJADA問合せフォーム

[（https://www.playtruejapan.org/form/index.html）](https://www.playtruejapan.org/form/index.html) より、お問合せください。

日本アンチ・ドーピング機構

<参照>

※1 COVID-19:Athlete Q&A（世界アンチ・ドーピング機構）

<https://www.wada-ama.org/en/resources/world-anti-doping-program/covid-19-athlete-qa>

※2 COVID-19-ADO GUIDANCE（世界アンチ・ドーピング機構）

<https://www.wada-ama.org/en/resources/world-anti-doping-program/covid-19-ado-guidance>

「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」

2020年3月26日

1. 不要不急の外出自粛等の制限がありますが、新型コロナウイルスが世界的大流行の中、JADAでは引き続きドーピング検査を行いますか？

はい。日本政府、地方自治体等によって移動制限等の制限がない場合、ドーピング検査はいつでもどこでも行われる可能性があります。

2. ドーピング検査を受ける場合、感染の可能性を最小限に抑えるためにJADAではどのような対策が行われますか？

ドーピング検査を実施する場合、JADAは厚生労働省からの「新型コロナウイルス感染症対策基本方針」及びWADAが発行している「新型コロナウイルス アンチ・ドーピング機関ガイドス」に基づき、アスリートとドーピング検査員の健康と安全を保護するための対策を講じています。

3. 感染の可能性を最小限に抑えるために、JADAではどのような具体的な措置をとるのでしょうか？

JADAでは、現在新型コロナウイルスの影響を勘案し、検査実施について慎重に検討しています。ドーピング検査を実施する場合は、ドーピング検査員はマスク・新しい手袋の着用をして、手洗いの徹底を行います。またドーピング検査員は、アスリートや関係者と可能な限り距離を取って対応いたします。

4. 新型コロナウイルスと疑われる症状が出た場合はどうすればよいですか？

まずは、ご自身の健康と周りの方々の健康を優先してください。ウイルスの感染が疑われる場合には、保健所に連絡して、適切な対応を確認してください。また、ドーピング検査員が検査の通告をした際に症状がある場合には必ず検査員にその旨申告ください。

5. 禁止物質または禁止方法を必要とする病状がある場合でも、治療使用特例（TUE）申請は必要ですか？

申請の責任があります。国際競技連盟から指定されているアスリートの場合は、同連盟に確認ください。それ以外は原則としてJADA TUE委員会へ直接申請します。JADA WEBサイトに (<https://www.realchampion.jp/process/tue>) 記載されているフローチャートを確認の上、自分が事前にTUE申請が必要なアスリートカテゴリーに属しているかチェックしてください。新型コロナウイルスの影響で医師からTUE申請に必要な書類を入手することが困難な場合は、JADAにお問い合わせください。

6. 世界的な新型コロナウイルスの影響でドーピング検査が減少している状況の中、今後ドーピングのないクリーンで公平な環境で競技をしていると安心できるのでしょうか？

新型コロナウイルスの影響が緩和された際には、WADA推奨の元、クリーンでフェアな競争が確保で

きるよう追加でドーピング検査を行っていきます。

7. 居場所情報を提出し続ける必要はありますか？

はい。ドーピング検査に影響を与える感染が疑われる症状やその心配がある場合には、居場所情報提出先であるJADAまたは国際競技団体（IF）へお知らせください。

8. 自宅待機中、またはドーピング検査員が適切な予防措置を講じていないと感じた場合、ドーピング検査を拒否できますか？

拒否できません。強制的な隔離やロックダウン（都市封鎖）がない限り、ドーピング検査を受けてください。ドーピング検査を拒否した場合、または通告後に検体採取手順を完了しなかった場合は、検査拒否と見なされます。ドーピング検査の手順を支援するために同伴者が必要な場合（特に、障がいのあるアスリートまたは18歳未満の場合）に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により同伴者を伴えない場合は、その旨をドーピング検査員に申告してください。

このような状況においては、アスリートの皆さんが自らアンチ・ドーピングに関する最新の情報を取得し、またチームメンバーなどにも積極的に展開することは、クリーンでフェアな環境を護るアンチ・ドーピング活動への貢献となります。JADAのWEBサイトでは、最新のアンチ・ドーピングに関する情報提供をおこなっていますのでご利用ください。 <https://www.playtruejapan.org/>